

大ー・テクノ

適 用 範 囲		モ デ ル 名	DCP-X45S	DCP-50KL	DCP-50ML	DCP-X50
		吸 吐 弁 型 式	—	スクイズ	スクイズ	スクイズ
		主仕様最大吐出量	m ³ /h	45	50	50
		最大吐出圧力	MPa	1.7	1.6	1.7
		ブーム最大地上高	m	17	17	18.5
適 用 号 機			34501～	90215～	91000～	91030～
区 分	検 査 箇 所	検 査 項 目 (条件)	単 位			
作 業 装 置	圧 送 装 置	ピストンストローク回数	回／min	—	—	—
		ロータ回転数	回／min	38	38	38
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(±)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(2000)	(2000)	(2000)
	かくはん装置	(作 動 油 温 度)	(℃)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)
		回 転 速 度	min ⁻¹	60±5	60±5	60±5
		チェーンのたわみ	mm	(40±5 H22.12～) 15	15	(40±5 H22.12～) 15
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)
	真 空 ポ ン プ	(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(2000)	(2000)	(2000)
		(作 動 油 温 度)	(℃)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)
		圧 力 設 定 値	Pa	—	—	—
		(設定値到達時間)	(min)	(—)	(—)	(—)
装 置	シリンダ 自然降下量	ブーム (1) シリンダ	mm	1.5	1.5	1.5
		ブーム (2) シリンダ	mm	1.5	1.5	1.5
		ブーム (3) シリンダ	mm	1.5	1.5	1.5
		ブーム (4) シリンダ	mm	2	2	2
		ブーム (5) シリンダ	mm	—	—	—
		(測 定 時 間)	(min)	(10)	(10)	(10)
	☆ ブームシリンダ 作動時間	(作動計測条件)	[図面No.]	[図 No. 1, 2]	[図 No. 1, 2]	[図 No. 1, 2]
		(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図 No. 1, 2]	[図 No. 1, 2]	[図 No. 1, 2]
		ブ ー ム (1) 伸 び	sec	—	—	—
		縮 み	sec	—	—	—
		ブ ー ム (2) 伸 び	sec	—	—	—
		縮 み	sec	—	—	—
		ブ ー ム (3) 伸 び	sec	—	—	—
		縮 み	sec	—	—	—
		ブ ー ム (4) 伸 び	sec	—	—	—
		縮 み	sec	—	—	—
		ブ ー ム (5) 伸 び	sec	—	—	—
		縮 み	sec	—	—	—
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)
		(作 動 油 温 度)	(℃)	(—)	(—)	(—)
		(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図 No.]	[図 No.]	[図 No.]
洗 浄 装 置	水 ポ ン プ (配管洗浄用)	吐 出 圧 力	MPa	—	—	—
		油 圧 水 圧 飛距離	MPa m	0.125	0.125	0.125
	空 圧 機	吐 出 圧 力	MPa	—	—	—
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)
		(作 動 油 温 度)	(℃)	(—)	(—)	(—)

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

コンクリートポンプ車

DCP-X50S						
スクイズ						
50						
1.7						
17						
92501～						
検 査 基 準 値						
—						
38						
(—)						
(2000)						
(50 ± 5)						
60±5						
(40±5 H22.12～) 15						
(—)						
(2000)						
(50 ± 5)						
—						
(—)						
—						
(—)						
—						
1.5						
1.5						
1.5						
2						
—						
(10)						
[図 No. 1, 2]						
—						
—						
—						
—						
—						
—						
—						
(—)						
(—)						
[図 No.]						
—						
0.125						
—						
—						
(—)						
(—)						
(—)						

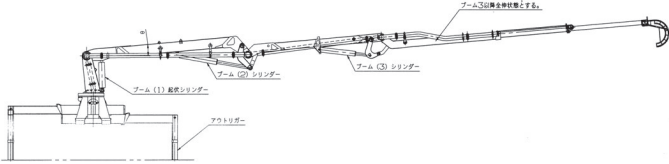
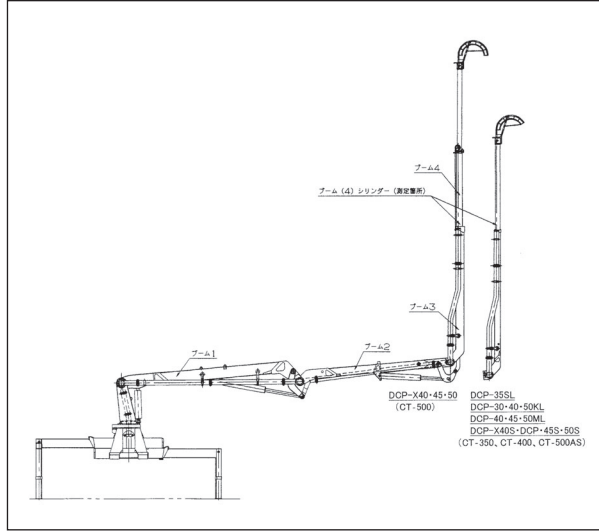
大 一 ・ テ ク ノ

適 用 範 囲		モ デ ル 名		DCP-X45S	DCP-50KL	DCP-50ML	DCP-X50
		主仕様	吸 吐 弁 型 式	—	スクイズ	スクイズ	スクイズ
			最 大 吐 出 量	m ³ /h	45	50	50
			最 大 吐 出 圧 力	MPa	1.7	1.6	1.7
			アーム最大地上高	m	17	17	18.5
適 用 号 機				34501～	90215～	91000～	91030～
区 分	検 査 箇 所	検 査 項 目 (条件)	単 位	検 査 基 準 値			
油 圧 装 置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	24.5	20	20	21
		弁シリンダ油圧	MPa	—	—	—	—
		かくはんモータ油圧	MPa	7	7	7	7
		プ ー ム 油 圧	MPa	20	20	20	20
		ACC ガス封入圧力	MPa	—	—	—	—
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)
車 体 ・ 装 置	☆ 旋回ベアリング 取付けボルト の締め付け	外輪取付けボルトの 締め付けトルク	N・m	436～485	485.5～534.5	436～485	436～485
		内輪取付けボルトの 締め付けトルク	N・m	436～485	343.4～382.6	436～485	436～485
		旋回ボルトの交換基準	年	注 1	注 1	注 1	注 1
	☆ 旋回作動速度	旋 回 速 度	sec	—	—	—	—
		(旋回作動角度)	(度)	(—)	(—)	(—)	(—)
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)
		(作 動 油 温 度)	(℃)	(—)	(—)	(—)	(—)
	アウトリガー シリンダ 自然伸縮量	各垂直シリンダ	mm	1	1	1	1
		(測 定 時 間)	(min)	(10)	(10)	(10)	(10)
		(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図 No. 3]	[図 No. 3]	[図 No. 3]	[図 No. 3]
特 記 事 項				注 1) 旋回ベアリング取付ボルトの中で 1 本でも緩み (新車 基準トルク以下) 、 折損、脱落、がある場合は外輪、内輪とも 全数交換する。			

☆印：新車基準値を表す (参考値)。

コンクリートポンプ車

DCP-X50S							
スクイズ							
50							
1.7							
17							
92501～							
検 査 基 準 値							
21							
—							
7							
20							
—							
(—)							
(2000)							
(50 ± 5)							
436～485							
436～485							
注 1							
—							
(—)							
(—)							
(—)							
(—)							
1							
(10)							
[図 No. 3]							

項 目	測 定 方 法	計 測 姿 勢
ブームシリンダー ー 自然降下	(1)測定条件にセット後エンジンを停止して各操作レバーを操作してアクチュエーターの圧抜きを行う。 (2)圧抜きから10分経過後、測定を開始する。指定測定条件にて10分間保持する。 (3)シリンダーロッド縮み量を測定する（ブームシリンダー(4)はブーム縮み量を測定） 注意：シリンダーロッド（ブーム）にマーカで目印をつけて、寸法を測定する。この際シリンダーロッドを傷つけないように、十分に注意すること。	図－1 ブームシリンダー(1)～(3)の測定条件 (1)ブームは全伸長とする。 (2)起伏角度が 2° ～5° とする。 (3)ブーム方向は車輪後方とする。 (4)油温は 50° ±5 とする。
		
	図－2 ブームシリンダー(4)の測定条件 (1)ブーム 4 は全伸長とする。 (2)ブーム 3 角度を垂直にする。 (3)ブーム方向は車輪後方とする。 (4)油温は 50° ±5 とする。	
		

項 目	測 定 方 法	計 測 姿 勢
アウトリガーシリンダー ー 自然降下	(1)測定条件にセット後エンジンを停止して各操作レバーを操作してアクチュエーターの圧抜きを行う。 (2)圧抜きから5分経過後、測定を開始する。指定測定条件にて10分間保持する。 (3)ジャッキシリンダー（縦箱）の縮小量を測定する。 注意：シリンダーロッド（縦箱）にマーカで目印をつけて、寸法を測定する。この際シリンダーロッドを傷つけないように、十分に注意すること。	図－3 アウトリガーシリンダーの測定条件 (1)ブームは走行姿勢とする。 (2)各アウトリガーを最大に張り出す。 (3)作動油温度は 50° ±5° とする。
	